

第118回役員会議事要録

日時：2020年2月20日(木)14：00～14：45

会場：大学本館E-703会議室

出席者：津田理事長、松尾副理事長、清田理事、柳井理事、龍理事、田上理事
(オブザーバー) 中野監事、福田監事、二宮副学長、中尾副学長

議案

- 1 2020年4月1日付け制度改正について

報告

- 1 教員の採用について
- 2 高等教育の修学支援新制度について
- 3 一般選抜志願者数について

議案1 2020年4月1日付け制度改正について

<質疑応答>

[理事]

○財源はどうなっているのか。全体でどれくらい負担が大きくなるのか。

[理事]

○2020年度予算については、同一労働同一賃金ガイドラインの施行を踏まえ、契約職員からリーダー的な役割を担わせるプロパー職員への転換を含み、働き方改革全体で2400万円程度の費用負担を予定している。

[理事]

○プロパー職員と契約職員のベースアップは同じなのか。

[理事]

○プロパー職員と契約職員のベースアップ（給与改定）については、北九州市の人事委員会勧告となる0.14%としており、同一である。今回の改正により、休暇等の制度の一部については、プロパー職員と契約職員を同一として改正することになっている。

報告1 教員の採用について

<質疑応答> なし

報告2 高等教育の修学支援新制度について

<質疑応答>

[理事長]

○対象者の高等学校を卒業してから2年以内という条件はなぜ設けられているのか。

[事務局]

○18歳で卒業した場合、短期大学を卒業した人や成人して本人が働くことができる年齢になるので、経済的困窮者が対象なので除外されているようだ。

報告3 一般選抜志願者数について

<補足説明>

[理事]

○西南学院大学は志願者減、福岡大学は志願者増であった。

[副理事長]

○西南学院大学に外国語学部が新設したことも、本学の英米学科へ影響があったかもしれない。